

## 感染予防行動が日常になる



秋穂湾の「2021年初日の出」(美濃が浜海浜公園から)

輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、八方原の環境を守る会の活動に深いご理解を頂き、また多くの活動にご参加をたまわりましたこと、感謝に堪えません。本年も変わらぬご支援をお願い致します。

令和2年は「新型コロナウイルス」に何かも大きな影響を受けました。緊急事態宣言の発令、学校の休業など、予想できない状況が次々と出現してまいりました。

### 「福引くじ」なしの節分祭り



元旦早朝の八幡宮参道

健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。地元のお祭りを承けています。中郷八幡宮でも、厳かに新年行事が行われました。

本年は暦の関係で節分が2月2日となります。従来なら、節分祭りとして、たくさんのお景品を用意した「福引くじ」も行われますが、新型コロナウイルス感染予防のために、節分行事は行いませんが、「福引くじ」は実施しないこととなりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

地区総代

当初は人口の多いところの話と高をくくっていたこともありましたが、次第に近隣に感染拡大の情報が広がり、対応を迫られることとなりました。

三密の回避は常に心がけることとなり、集会や研修もほとんどできない状況です。マスクは必需品となり、マスクなしで、どの店にも入れないことになりました。

夏以降、収束に向かうのかと思っておりましたが、寒さとともに感染者が増し、疲弊した旅行業界の活性を図るための「Gotoキャンペーン」も感

染拡大の一端を担う患者扱いとなりました。

山口県の稲作はウンカ被害が深刻で、作況指数が73という状況になりました。しかし、当地区ではそのような被害は出ませんでした。そのことに周辺の農家だけでなく、専門家からも注目を集めています。

今年のスタートもまだまだマスクを外せるような状況ではなく、変則的な活動にならざるを得ません。上部団体は自前の研修は中止しましたが、団体個別に研修を実施するように指導が届いています。実際に面談しないリモートの会議なども考えていくことになるでしょう。引き続き、ご指導ご鞭撻をお願い致します。

代表 黒瀬 和美



農事組合法人が夏に一度除草を実施のために作業は比較的楽に

## 冬の農道除草清掃作業に15人

12月20日の冷え込みの厳しい朝、農道の除草清掃を行いました。場所は農業用水のポンプ小屋から、ヴィレッジハウス（森下の集合住宅）に至る西側外周路です。

外周路は距離が約1400メートルあります。一日の作業としては最も長い距離となり、作業量も多いですが、15人の参加がありましたので、無事に終わることができました。

今年度は、刈り払機の使用

・・・お知らせ・・・  
チームハッポウは今年の山口市駅伝競争大会には出場しません。

を基本としましたので、8台の刈り払機が作業の中心となりました。

圃場は一面、霜で覆われるという寒さの中でしたが、終盤には汗ばむほどの作業となりました。参加の皆さん、ご苦労様でした。

次回は1月17日8時半から大森農道、中央南北線。1月24日は、西の池、金原農道で実施します。ご参加ください。



実際の「炎」だと、近寄ることは難しい

## 「ごま」とごまの時のための

八方原公民館の避難訓練が12月6日に行われました。公民館の炊事場から出火し、けが人が出たという想定です。

訓練ですので、負傷者の搬送はスムーズに行われましたが、実際にこうした事態が起きたときには、そう簡単にはいかないかも知れません。通報の訓練も行いました。正確に場所を伝えることが重要ですので、公民館の地番4127を覚えておきましょう。

消防組が消火訓練も実施しました。模擬の消火器ですが、できるだけ炎の中心を狙うこと、周りの人に分かるよ

うに、大きな声を出すことを指導されました。何名もの人が消火器の扱いを学びました。



消火訓練の後、消防組は防災用の土嚢づくり

## 寒さに対応しながら活動を展開



八方原橋付近から八方原の圃場を (12月31日)

天気予報では今年の冬は厳しいだろうということでした。今年のお正月は山陰、北陸、東北など記録的な積雪になっています。

年末の30日から「風雪警報」まで出ました。この小郡地区にはそこまでの積雪はありませんでしたが、大みそかの朝には、一面にうっすらと雪が積もり、道路は所々で凍結していました。

数年前にはあまりの厳しい寒さで、予定していた共同作業を中止したことがありました。自然にはかないません、臨機応変に対応しましょう。